

YAMAKADO NEWSLETTER

NO.147

2012/02/20

山門水源の森を次の
世代に引き継ぐ会

雪・雪・除雪・除雪

新雪の中央湿原 (12/02/03)

2011 年も積雪が多く 4 月初旬まで残雪がありました。今冬も月は、ほぼ毎日のように降雪が続いています。守護岩では今年も積雪が 2m を超えました。これだけ降ると除雪作業に追われることとなります。2 月 12 日現在 6 回の除雪を行いました。積雪の圧力は報道にもあるように、見かけ以上に大きく除雪を怠ると被害を被ること



積雪に埋まった「やまかど・森の楽舎」(12/02/03)



廊下まで侵入した落雪 (12/01/29)



楽舎の窓も超える落雪の除雪 (12/02/01)



バイオトイレも完全除雪 (12/02/07)

とになるためかなり神経を使っています。バイオトイレのようにこじんまりした建物は、雪圧で動くのでは

と心配したほどでした。幸い楽舎の屋根の積雪は、適宜落下するので助かっていますが、除雪した雪の置き場には悪戦苦闘の連続です。県道から楽舎への進入路は最近まで除雪が出来ませんでした。浅井会員が除雪機で除雪してくれて今ではかなりの台数の駐車も可能となりました。湿原の気象観測器もピークには埋まりそうになり周辺の除雪を行いました。沢道の除雪も橋の部分は随時実施しています。

山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会

<http://www.digitalsolution.co.jp/nature/yamakado/>

積雪期の訪問者も増えてきました



展望場から湿原を望む(12/01/12)



展望場から湿原を望む(12/02/12)

こうした積雪期の訪問者は昨年まで限られていましたが、今冬は人数が増加し来訪者の居住地も広がってきました。もちろん本会会員の訪問も多くなってきました。多くの訪問者がある理由は、雪山を歩いた経験が無く、ガイド付きの旅行社の募集によるものと無積雪期に何度か来た



中央湿原から「守護岩」方面を望む(12/02/10)



積雪1.8mのブナの森(12/02/10)

ものの積雪期の『美』に惹かれてというのが多い。ほぼ毎日出向いている者でも日々変わる雪景色は説明抜きで感動の連続である。もっとも完全な冬装備が必要であることと、夏の地形とは著しく異なるので一人歩きは危険である。積雪は、冬景色が美しいというだけではありません。沢の状態・動植物の雪に耐える姿等観察するものも限りありません。一度冬の森をとお考えの会員は、事務局に連絡下さい。力量に合わせて案内させていただきます。



しぶき氷に被われるショウジョウバカマ

方が異なる「しぶき氷」の状態が楽しめます。
豊作だったミ



新雪の沢道を観察しながら(12/02/12)

湿原への上りは主に沢道を、下山時には尾根道を使っています。初めての方は沢道は危険です。沢道は、降雪状態で変化する沢の景観や気温によって発達の仕



ミヤマウメモドキ(12/01/30)



ミヤマウメモドキ



凍てつく朝のしぶき氷

ヤマウメモドキも1月末には未だ雪の中で赤味が目立っていたが連日の降雪と凍結・融解の繰り返しでその色合いを失ってきた。雪解けまでには全てが落果し発芽の準備に入ることだろう。

生物多様性の保全は、短期に結果を求めず個々の生物の実態を知ることから始まるのだと痛感します。